

平成 20 年 4 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社 セキチュー
 代表者名 代表取締役社長 関口 忠
 (J A S D A Q ・ コード 9 9 7 6)
 問合せ先
 役職・氏名 経理部長 金田 和宏
 電話 0 2 7 - 3 4 5 - 1 1 1 1

平成 20 年 2 月期通期 (連結 ・ 単独) 業績予想との差異に関するお知らせ

平成20年2月期(平成19年2月21日～平成20年2月20日)の業績予想について、平成19年10月5日付当社「平成20年2月期中間決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1 . 平成 20 年 2 月期 連結業績予想の修正等 (平成 19 年 2 月 21 日 ~ 平成 20 年 2 月 20 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	43,100	800	1,000	50	4 円 48 銭
今回修正 (B)	42,843	840	1,148	118	10 円 64 銭
増減額 (B - A)	257	40	148	68	
増 減 率 (%)	0.6	5.0	14.8	136.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 2 月期)	45,374	813	1,161	168	15 円 15 銭

(1) 修正理由

売上高につきましては、概ね当初予想どおり 428 億 4 千 3 百万円(前回予想比 0.6%減)の見込みであります。

商品部門別では「DIY 用品」は、農業資材、水道用品、植物部門が売上増加となりましたが、建築資材部門は、原材料の高騰並びに住宅着工数の減少を受け苦戦しました。

「家庭用品」は、日用品部門が好調に推移しましたが、インテリア、収納部門が苦戦しました。

「カー用品・自転車・レジャー用品」では、タイヤ、カーオーディオ部門が好調に推移しましたが、用品販売で売上減となりました。

営業利益につきましては、商品管理の徹底による不要な値下げの排除と棚卸ロスの削減から売上総利益率が向上し、また、販売費及び一般管理費の削減に一層努めた結果、8 億 4 千万円(前回予想比 5.0%増)となる見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益の増加要因に加え、受取賃貸収入の増加、支払利息の減少があったため 11 億 4 千 8 百万円(前回予想比 14.8%増)となる見込みであります。

当期純利益につきましては、平成19年3月の税効果関連の実務指針等改定への対応として、繰延税金資産の取扱いを検討した結果、役員退職慰労引当金等に係る繰延税金資産について、1億8千8百万円の取崩しを行ったことによる法人税等調整額の増加等の利益減少要因がありました。上記営業利益、経常利益と同様の理由により1億1千8百万円(前回予想比136.0%増)となる見込みであります。

2. 平成20年2月期個別業績予想数値の修正(平成19年2月21日～平成20年2月20日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	43,100	800	1,000	50	4円48銭
今回修正(B)	42,843	854	1,163	130	11円66銭
増減額(B-A)	257	54	163	80	
増減率(%)	0.6	6.7	16.3	160.0	
(ご参考) 前期実績 (平成19年2月期)	45,374	805	1,154	173	15円54銭

(1) 修正理由

上記連結と同様の理由によります。

以 上